

伝統的工芸品指定記念特集展示

長崎

海からの
おくりもの

べっ甲

2017年

6月28日(水)～9月3日(日)

※7月18日、8月21日は休館

開館時間 8時30分～19時(最終入館は30分前)

場 所 長崎歴史文化博物館
2階歴史文化展示ゾーン内 特集展示室

料 金 大人600円、小中高生300円
※県内小中学生は無料

主 催 長崎歴史文化博物館、長崎市
協 力 長崎鱈甲組合連合会
日本べっ甲協会

後 援 長崎県



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎 べっ甲

海からの
おくりもの

人は古より自然界にある様々な産物に技巧を施し英知を吹き込むことによって、珠玉の作品を数多く作ってきました。南洋に生息するウミガメの一種であるタイマイの甲羅を使って技巧や細工を施したべっ甲細工もその一つです。

いつからべっ甲細工が長崎で作られるようになったのかは定かではありませんが、江戸時代の元禄期には長崎で作られていたようです。女性のファッションに欠かせない髪飾りなどのアイテムとして人気を博しました。

明治になると外国人向けの土産物としてべっ甲細工の人气が高まり、長崎べっ甲は繁栄期を迎えます。江戸時代より約300年にわたり連綿と受け継がれてきた長崎べっ甲ですが、1992年(平成4)に原材料であるタイマイの輸入が禁止されたことにより、べっ甲業界は危機を迎え、事業所数も激減してしまいました。そのような中、明るい展望を見出そうと取り組んだべっ甲業界の努力が実り、今年1月に経済産業大臣によって長崎べっ甲は伝統的工芸品に指定されました。

本特集展示ではこれを記念し、江戸時代から現代までの長崎べっ甲の歴史をべっ甲作品や絵画、文書、写真資料を通して辿ります。職人の技を結集した長崎べっ甲の美をご堪能いただければ幸いです。



長崎芸妓図美人図 荒木君瞻筆



宝船(長崎市商工部蔵)



チャボ 大園博之作 1991年
(長崎市商工部蔵)



置物「人力車」1900年頃



蒔絵組小箆箱 江戸後期



薄端型花器 1900~1920年頃

関連イベント

長崎べっ甲実演・製作体験会

長崎べっ甲の職人さんによる実演と製作体験をお楽しみください。

日時:7月22日(土)、23日(日) 10:00~17:00

場所:長崎歴史文化博物館1Fエントランスホール

主催:長崎鱉甲組合連合会、日本べっ甲協会

後援:長崎県、長崎市 協力:長崎歴史文化博物館

※製作体験は有料となります



職人さんによるギャラリートーク

日時:7月23日(日)、8月12日(土) 14:00~

場所:2階歴史文化展示ゾーン内

特集展示室

講師:藤田誠氏(藤田べっ甲)

※常設展チケットが必要です。

